

運動会も無事に終わり、朝夕に冷え込みを感じられめっきり秋らしくなってきました。2か月ぶりのお茶のおけいこは、これまでに習ったことの復習が中心でしたが、お道具の名前もしっかり覚えていましたよ！

次回はいよいよ“お茶を点てる”おけいこです。楽しみですね！

10月のお菓子



・ぎんなん ・いちよう

10月のお花



・ホトトギス



総礼をして、おけいこが始まります

お運びさん



菓子器は、両端をしっかりとちます



菓子器をもったまますわります



左手(古帛紗)をお皿にして右手でお茶碗をしっかりと持ちます



「お茶どうぞ」

お客さん



お菓子は、左手をそえて遠い所から取ります



運ばれてきたお茶碗を、右手でへりの中に入れます



「お茶 ちょうだいします」



お茶を点ててくれた人、運んでくれた人に感謝していただきます

*豆知識—お茶の歴史 (1)「お茶のもと中国」

お茶を飲む風習がはじめて伝えられたのは、奈良時代といわれています。そのころは団茶というお茶の葉をつき固めた“だんご”のようなものでした。

平安時代の終わりごろ中国の宋に渡った栄西という僧侶がお茶の実を持ち帰り、日本に広まっていったそうです。

栄西は、お茶を飲んで楽しむだけでなく、病気に効く薬だと時の将軍 ^{みなもとの}源 ^{さねとも}実朝に献上し、武家の間に広まり始めました。又、商人の間にも広まっていったようですが、当時ではぜいたくな遊びと考えられ、お茶の産地や茶名を当てたりして楽しまれていたようです。

次回は、茶道の始まりへと続きます。